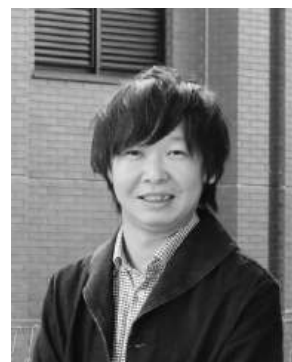


2023年度のボランティア・ NPO 活動センターをふりかえって

センター長 石原 凌河



龍谷大学ボランティア・NPO 活動センター（以下、センター）は、2001年度の創設以来、思いやり、責任感、主体的に行動する力のある人間を育てるとともに、各種諸団体との連携・交流を深め、学内外における様々なボランティア活動の振興を図って参りました。

2023年度はコロナ禍による活動の制約をほとんど受けることなく、コロナ禍以前の水準でセンター事業やボランティア活動を展開することができました。センターで実施してきた様々な事業の実施に際して、多くの方々からご支援、ご協力を賜りましたことに厚く御礼申し上げます。

2023年度の取り組みの詳細についてはそれぞれの当該ページをご参照いただけたらと思いますが、ここではセンターの2023年度の実績についてごく簡単に紹介させていただきます。

当センターではボランティア活動を希望する学生への情報提供等を行なうとともに、地域団体のボランティア募集の相談に応じるなど、この両者をつなぐボランティアコーディネーションの役割を担っています。2023年度も学生や外部団体への相談やコーディネーションに関する業務を滞りなく実施しました。

また、本学学生を対象としたボランティアに関する講座として、「ボランティア入門講座」・「ボランティア体験 Ryu ボラ!」・「ボランティアリーダー養成講座」・「社会問題理解のための講座&ワークショップ」を実施し、本学学生のボランティア活動への参加促進に努めて参りました。長期休暇期間中には、国内の地域や治安・衛生環境が安全だと判断される海外を訪問する「体験学習プログラム」を実施しました。2023年度の国内体験学習プログラムでは、徳島県をフィールドとする『『四国のへそ』で学ぶSDGsの架けhashi』と、福島スタディツアー「福島の「今」を見、福島を生きる人々の「言葉」を聴き、そして「自分」を見つめる」を実施しました。海外体験学習プログラムでは、インドスタディツアー「インドの農村で学ぶ女性の自立・教育・経済発展」を実施しました。

2011年度から継続的に実施している東日本大震災被災地域でのボランティア活動も9月上旬に実施しました。2024年1月1日に発生した令和6年能登半島地震の発災を受けて、センターでは募金活動を行なった他、災害ボランティア活動を取り組むための心構えを伝える災害ボランティア講座も実施しました。

この他にも、教員・職員とともにセンターを運営する学生スタッフを育成するために、オリエンテーション研修・夏合宿・春研修を実施しました。学生スタッフが主体的にセンターの環境を整えることや、コーディネーションのスキルアップなどを目的とした班活動の支援も行なってきました。「深草ふれあいプラザ2023」・「大津祭」・「防災・減災そなえパークの日」など学内外のボランティア企画への協力も積極的に行なって参りました。

このように2023年度もセンターではボランティア・コーディネーションや魅力あるボランティアプログラム等を積極的に展開できたと自負しています。龍谷大学基本構想400の将来ビジョンとして掲げられている『「まごころ～Magokoro～」ある市民を育む』をリードできる組織となるように更なる魅力あるプログラム等を提供して参ります。そして、龍谷大学生にボランティアをお願いしてよかったとこれからも多くの方々から信頼されるようなセンターであり続けたいと考えています。

皆様からの変わらぬご支援のほど何卒よろしくお願い致します。